

奥利根 宝川 ナルミズ沢

2013年9月22日(日)～23日(月)

メンバー：L 磯部S、ヤマメ、ざ・料理人、池田T(記)

明るく開けていて水の透明度が高い沢だった。
小滝とナメが主体の初心者向けの沢である。大きめの滝には必ず巻き道がある。
今回、ロープを使ったのは「魚止め滝8m」のみ。そこも左岸の階段状の踏み跡を登れば使わずに済んだ。
2日目が朝から小雨で肌寒く視界も良くなかったため、期待していた『草原のツメ』はあきらめて「魚止めの滝」で引き返した。

9/21(土)

前夜に浜松を出発。高速道路を乗り継いで約5時間で目的地手前の道の駅に到着。テントを張り、小宴会の後に就寝。

<タイム> 浜松19:10＝東名高速～御殿場～R138～東富士五湖道路～中央道～圏央道～関越道～水上IC＝道の駅「みなかみ町水紀行館」1:00

9/22(日) 曇り

道の駅から宝川温泉に向かって出発。温泉入り口を通り過ぎると広い駐車場がある。男性3人のパーティーが出発準備をしていた。我々も準備をして歩き始める。



20台は停められる駐車場。奥が林道入り口。車止めがある



しばらくは林道を歩く

林道を約2時間歩いてやっと「登山口」に至る。登山道は宝川の左岸をトラバースしているのだが、枝沢がいくつも横切っており、小刻みなアップダウンがあるので意外に疲れる。場所によっては道が崩れている。



長い林道歩きが終り、やっと登山道になる



道が崩れている。一旦下って登り返す（写真は復路）

宝川の数十m上をトラバースしていた登山道が下りになり、「広河原」でウツボキ沢と出合う。テントが4～5張り設営できそうな平坦地があった。



渡渉点。水量は少なめで靴を濡らさずに渡れた



ウツボキ沢出合から入溪

入溪して間もなく本日の核心の7m滝へ。その手前に高さ1mにも満たない小滝と淵があるが、95年8月に3名が水流に引き込まれて水死する事故が発生した。自分は左岸をへつったが、リーダーは泳いで通過した。ただ、当時は増水していたそうなので今日とは状況が異なる。



「7m滝」の手前の淵



「7m滝」を過ぎた後は幅広くて緩やかな小滝が続く。

大石沢出合で幕営適地を探す。合流地点に良い場所は無く、100mほど下流側の左岸に適地が点在していた。上流を数十m行った所にも適地があり、別の5人パーティーが幕営していた。

夜は宴会で大いに楽しんだ。未明に雨が降り始める。

<タイム> 道の駅＝宝川温泉の奥の駐車場7:45－宝川理水試験池8:30－朝日岳登山口9:40－広河原（ウツボキ沢出合）11:15－大石沢出合14:00
幕営

9/23(月) 小雨のち曇り

出発の予定時刻になっても小雨が止まなかったが、増水は見られなかったので遡行を始めた。ただし無理はせず、適当な所で引き返すことにした。



大石沢出合を約100m戻った左岸台地にテントを張った。



S字状コルジュ。左岸に巻き道あり。ただしぬかるみがひどい。

約1時間で魚止め滝に到着。水流の右側をリーダーがトップで登った。
ただ、風が出てきており、稜線上の視界も悪そう。このまま先に進んでも辛い状況が予想されたのでここで引き返すことにする。



魚止め滝をバックに



ナメを下っていく

今回は残念ながら草原のツメには至らなかった。いつか再訪したい。

<タイム> 幕営地5:50－魚止め滝7:00～7:20－大石沢出合い8:25～9:00－ウツボキ沢出合10:00－駐車場13:30

以上